

平成23年2月期 第2四半期決算参考資料

米久株式会社
(東証一部：2290)

1. 当第2四半期の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 初夏の天候不順、夏の猛暑により食肉需要が低下
- 2) 消費低迷・デフレ継続により量販店既存売上は前年割れ
- 3) 国内相場は前年からの安値傾向が継続、食肉事業の売上高と利益に影響
- 4) 加工品原料価格の低下が継続し、加工品の粗利益率上昇に寄与
- 5) 為替(対USドル)は大幅な円高、輸入調達コストが低下
- 6) 前年のブラジル産冷凍鶏肉の相場急落、北米産冷蔵豚肉への新型インフルエンザの影響が解消
- 7) 4月に宮崎県で口蹄疫が発生し、8月に終息宣言。わが社業績への影響は軽微
- 8) 昨年12月にチムニー(株)の全株式を譲渡、同社は当期より連結除外(影響額:売上高 191億円、営業利益 16億円)
- 9) 当第2四半期末の連結子会社数は前年同期比2社減少(チムニー・ヤマキ食品)の合計13社
- 10) ふじやまビール株式を本年3月に売却、第2四半期より持分法適用会社は1社(ときめきファーム)に

2. 当第2四半期(平成22年3月1日～平成22年8月31日)の連結業績

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	年初公表予想
売上高	65,653	82,234	20.2	70,700
営業利益	807	1,689	52.2	920
経常利益	826	1,691	51.1	930
四半期純利益	505	467	8.1	530
EPS(円)	18.24	16.28	-	-
ROE(%)	1.4	1.1	-	-
ROA(%)	1.5	2.4	-	-

注) ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

3. 第2四半期(3月1日～8月31日)連結業績の推移

金額単位 百万円

	H19/2期 第2Q	H20/2期 第2Q	H21/2期 第2Q	H22/2期 第2Q	H23/2期 第2Q
売上高	70,820	79,173	84,831	82,234	65,653
営業利益	1,809	1,669	2,641	1,689	807
経常利益	1,821	1,662	2,713	1,691	826
四半期純利益	421	907	550	467	505
純資産	36,444	38,663	39,871	40,956	37,001
総資産	67,320	78,488	80,914	80,541	62,685
一株当たり純資産:円	1,182.54	1,195.86	1,219.88	1,227.75	1,332.23
一株当たり四半期純利益:円	14.67	31.58	19.14	16.28	18.24

4. セグメント別業績の推移

金額単位 百万円

		H19/2期 第2Q	H20/2期 第2Q	H21/2期 第2Q	H22/2期 第2Q	H23/2期 第2Q
売上高	加工品・食肉事業	52,566	56,226	64,130	61,085	/
	外食事業	13,544	17,102	19,549	20,028	
	その他事業	4,709	5,844	1,151	1,119	
	消去又は全社	-	-	-	-	
	連結合計	70,820	79,173	84,831	82,234	
営業利益又は損失	加工品・食肉事業	739	114	1,044	39	/
	外食事業	1,023	1,514	1,604	1,626	
	その他事業	33	25	16	16	
	消去又は全社	12	14	9	6	
	連結合計	1,809	1,669	2,641	1,689	

注) H23/2期はセグメント業績を開示していません。

5. 連結子会社一覧

金額単位 百万円

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	6,401	3,969	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
米久デリカ(株)	100.0	2,900	2,293	ハム・ソーセージの製造
(株)日宏食品	100.0	774	279	ソーセージの製造
(株)セブンフードサービス	100.0	1,469	1,271	弁当・惣菜及び冷凍デリカ製品の製造・販売
アンゼンフーズ(株)	100.0	2,310	2,812	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		13,855	10,626	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,206	1,068	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		1,206	1,068	
米久東伯(株)	100.0	3,160	2,600	鶏肉の生産・加工・販売
おいしい鶏(株)	100.0	1,732	943	鶏肉の加工・販売
(株)マルフジ	100.0	940	436	食肉の卸売業
アイ・ポーク(株)	100.0	770	267	豚肉の加工・販売
食肉供給会社計		6,603	4,248	
御殿場高原 ビール(株)	54.3	805	725	地ビールレストランの経営
外食・レストラン経営会社計		805	725	
(株)平田屋	100.0	651	692	菓子の製造・販売
(株)吉野屋	100.0	252	225	書籍等の販売
その他の会社計		903	917	
< 連結子会社合計 >		23,374	17,586	

その他、持分法適用会社1社

・加工品・食肉事業

ときめきファーム(株)

6. 当第2四半期の業績

(1) 売上高

加工品・食肉事業分野は、前期に引き続き、第4次中期経営計画の基本戦略に沿って販売数量拡大を推進しました。まず、デリカテッセンが昨年子会社となったアンゼンフーズ(株)製品の好調などにより、売上高・数量が増加しました。一方、ハム等は消費低迷により、またソーセージは不採算アイテムの整理により、売上高、数量が減少しました。以上の結果、加工品全体では、数量が増加しましたが、売上高は前年並みとなりました。次に、食肉は、豚肉・牛肉・鶏肉の全ての畜種において売上高、数量が増加しました。畜種別では、豚肉が国産品の増加とともに、前年同期に数量を落とした北米産冷蔵豚肉も回復しました。牛肉は国産品が割安感のあるグレードを中心に数量を伸ばし、豪州産も順調に増加しました。鶏肉は国産品も輸入品も大幅に増加しました。この結果、単体の売上高は1.5%の増加となりました。なお、昨年12月にチムニー(株)の全株式を譲渡し、連結売上高に24.3%影響しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は165億80百万円減少の656億53百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

(2) 売上総利益

単体において、昨年来のハム・ソーセージ等加工品の主・副原料価格低下が継続したことや、大幅な円高による輸入品調達コスト低減、前年の冷凍鶏肉相場急落の影響が解消されたことにより、売上総利益率は前年同期に比べ0.7ポイント上昇しました。次に、生産子会社では、主・副原料価格低下に加え、不採算製品の整理により、ハム・ソーセージ等製造の米久かがやき(株)と米久デリカ(株)の売上総利益が増加するとともに、昨年子会社となったアンゼンフーズ(株)も大幅増となりました。また、プロイラー関連事業の米久東伯(株)とおいしい鶏(株)は、国産鶏肉相場が低迷したものの、昨年の相場急落による影響が解消し、売上総利益が増加しました。なお、チムニー(株)の除外影響として123億円の売上総利益減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上総利益は113億30百万円減少し93億84百万円(前年同期比54.7%減)、売上総利益率は前年比10.9ポイント下落し14.3%となりました。

(3) 販管費、営業利益

単体において、在庫削減により保管料は減少しましたが、人件費の増加などにより販管費全体は前年同期に比べ2.4ポイント上昇しました。また、売上高販管費率は前年同期比0.1ポイント上昇し、10.2%となりました。なお、チムニー(株)の連結除外影響として108億円の販管費減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の販管費は104億48百万円減少し85億76百万円(前年同期比54.9%減)となり、売上高販管費率は10.1ポイント下落の13.1%となりました。また、営業利益は8億81百万円減少の8億7百万円(前年同期比52.2%減)となりました。

(4) 営業外収支、経常利益

営業外損益において、営業外収益が1億1百万円減少、営業外費用は1億18百万円の減少となりました。なお、このなかの持分法による投資利益は1億13百万円の増加となりました。

以上の結果、経常利益は8億64百万円減少の8億26百万円(前年同期比51.1%減)となりました。

(5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別損益において、特別利益は2億44百万円減少、特別損失は1億44百万円の減少となりました。これらの結果、税金等調整前当期純利益は9億64百万円減少の7億58百万円(前年同期比56.0%減)となりました。また、法人税等は5億37百万円減少、少数株主利益はチムニーの連結除外などにより4億65百万円の減少となりました。

以上の結果、当期純利益は38百万円増加の5億5百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

- 1) 食肉の国内相場は、年末にかけ全畜種において上昇し、売上高・利益にプラス影響と見込む
- 2) 加工品の主・副原料価格は前年並み
- 3) 加工品生産会社は増産と採算性見直しによる効率化を推進
- 4) 米久東伯・おいしい鶏共に供給能力を増強
- 5) アンゼンフーズが生産量を前年比115%に拡大、増益を見込む
- 6) 昨年12月にチムニー(株)の全株式を譲渡、連結除外(影響額:売上高 201億円、営業利益 14億円)

8. 通期業績予想

金額単位 百万円

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	138,000	168,717	18.2
営業利益	2,500	4,387	43.0
経常利益	2,530	4,539	44.3
当期純利益	1,400	2,863	51.1
E P S (円)	48.93	100.09	-

9. 設備投資及び減価償却費

(1)設備投資額

金額単位 百万円

		金額	主な内容(通期予想では下半期における内容を記載)
連結	上半期実績	665	米久 工場ライン新規設備 32百万円 システム関連投資 68百万円 米久テリカ 浄化槽設備 21百万円
	通期予想	1,450	米久東伯 鶏糞ホイラー 125百万円 米久テリカ 包装設備 89百万円

(2)減価償却費 金額単位 百万円

		金額
連結	上半期実績	911
	通期予想	1,905